

令和3年度丸山町会定期総会 表決結果報告

総務部 稲葉 嘉敏

新型コロナウイルスの感
 染防止の為、今年度も昨年
 と同様に書面による総会と
 なりました。

集計結果は、表決権行使
 数2,948票になり世帯
 数(3,754)の79%
 にあたり、会則第19条(総
 会の定足数)の条件の2分
 の1を越えており、総会は
 成立致しました。

各議案に対しての表決結
 果は左記のとおりです。

議案第1号・事業経過報告
 賛成…2,902

議案第2号・決算報告
 賛成…2,895
 反対…白票…53

議案第3号・監査報告
 賛成…2,899
 反対…白票…49

議案第4号・事業計画(案)
 賛成…2,894
 反対…白票…54

議案第5号・予算(案)
 賛成…2,891
 反対…白票…57

議案第6号・役員承認(案)
 賛成…2,907

反対…白票…46

以上となり、会則第20条
 (総会の議決)の過半数を満
 たしておりますので、全て
 の議案は承認されました。
 コロナ禍の収束が見通せ
 ない状況が続くと思われま
 すので、計画された行事も
 今後の状況を見極め取り組
 んでいくことと思えます。

皆様方のご協力により、
 今年度の書面表決総会を無
 事終えることが出来ました。
 ありがとうございます。

二度目の書面表決総会を終えて

丸山町会会長 柳澤 保雄

昨年5月に丸山町会が発
 足して初めての書面表決総
 会が実施されました。2回
 目となった書面表決総会の
 実施は、今回も各丁目毎に
 班長さん組長さんのご協力
 を頂いてスムーズに配達回
 収が達成された事に熱く御
 礼申し上げます。貴重なご
 意見を賜り、今後の町会運
 営に役立てて参ります。

町会としては、地域の絆
 を深め繋がり第一に各種
 行事を予定計画しました
 が、新型コロナウイルス感
 染の収束が見通せないコロ
 ナ禍に於いて感染予防上3

密を避ける為、丸山町会
 は今年も「夏まつり」開催
 を中止いたします。また、
 秋に予定しておりました
 「敬老会」は、船橋市とし
 て行事を行わず交付金も出
 さない事になりました。そ
 の関係で該当者も分からな
 い状況なので、丸山町会
 は今年も敬老会を中止とい
 いたします。但し特別該当者
 (88歳&100歳)へは、
 船橋市から直接連絡が届き
 ます。

この様に多くの行事が近
 隣町会・自治会に於いても
 今年もまた実施できません。

クリーン船橋530(通称ゴミゼロ)

環境部長 長崎 昇

令和3年5月30日(日)、「ク
 リーン船橋530の日(通
 称ゴミゼロ・530)」の活
 動が行われました。

令和元年11月17日(日)実施
 されて以来の活動でした。
 コロナ禍、昨年度は、あ
 らゆる町会活動が中止とな
 りましたので、今回の活動
 は、久々の町会活動でもあ
 りました。感染防止に十分
 配慮しながら、丸山公園・
 法典東小学校・丸山小学校
 前信号横公園の3か所を収
 集場所として、約150名
 の方々が参加されました。

小さなお子さんの手を
 引いて参加されたお母さ
 ん、ご夫婦で参加いただ
 いた方、毎回参加していただ
 いている少年サッカーチー
 ム、コーチ、保護者の皆さ
 ま、そして、班長、役員の
 皆さま、ご協力いただき誠
 にありがとうございます。

久しぶりの町会活動に、
 我々町会役員も参加され
 皆さまから沢山の元気を頂
 き、マスク越しではありま
 すが、皆、笑顔になつて
 いたことと思います。

丸山は、きれいな町だ
 と思います。しかし、今回実

新型コロナウイルス感染

は収束する事なく、増加・
 減少を繰り返して今日に至
 っております。わが国でも医
 療従事者や重症化の恐れあ
 る基礎疾患がある高齢者を
 優先的にワクチン接種が始
 まっており、丸山地域に於
 いても順次ワクチン接種券
 が届き、既に第一回目のワ
 クチン接種を受けた方が多
 数おります。先ずは、中高
 年層者が積極的にワクチン
 接種を受けコロナウイルス
 感染予防に努めてまいりま
 しょう。

会員の皆様が一日も早く
 ワクチン接種を済ませ、7月
 から開催される東京オリ
 ムピック・パラリンピックを
 家庭で元気にTV応援でき



ます様に願っております。
 コロナウイルス感染症と
 いう誰もが予想しなかった
 大災難に立ち向かい、我々
 一人一人の生活を守りつ
 つ、今こそ出来る町会活動
 絆を大切に出来る共助への取
 り組みを推し進め、私達で
 出来る精一杯の努力をして
 参りたいと思います。

輪を広げよう! 手芸講習会を開催

婦人部長 高橋 成子

令和3年度、婦人部は、
 新しいメンバーを加え9名
 で活動を開始しました。
 昨年度は、町会行事が全
 て中止となり、婦人部とし
 ての活動は十分に行えない
 一年でしたが、今年こそは
 何らかの活動を行おうとみ
 んなで考えました。

5月に初めての部会で、
 一年間の行事を確認し、手
 始めに「手芸講習会」を行
 いました。5月29日、自治会館で行
 いましたが、当日は、25名
 が参加し和気あいあいと行
 うことが出来ました。

当日の課題は「メガネ
 ケース」作りです。婦人部
 の役員が材料を準備し、作
 業のサポートをしました
 が、皆さん、さすが主婦の
 手際良さを発揮し、上手に
 仕上げておりました。

また、船橋市「シトラス
 リボン プロジェクト」に
 賛同し婦人部・広報部の方
 が沢山作ったリボンを、参
 加者の方にお配りし、喜ん
 で頂けました。

これからも、丸山町会が
 安心して暮らしやすい街に
 なるよう、思いやりの輪
 を広げられたらと!!
 婦人部では、「料理教室
 (焼き肉のタレ)」「手芸講
 習会(姉さん被りの帽子)」
 を今後予定しております。
 是非、ご参加ください。



今日は「530」家族みんなで



サッカーチームのみんな
 いつも、ありがとう!



久しぶりの集まり 楽しいね!



ここは、こうね!



もうすぐ完成です



「シトラスリボン プロジェクト」 を知っていますか

感染者や医療・介護従事者への差別・偏見をなくしましょう



船橋市はこの活動に賛同しています

「ただいま」「おかえり」
が言い合えるまちに

みんなで広げよう！ シトラスリボン プロジェクト

新型コロナウイルス感染症により、感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々への差別や偏見を無くし、誰もが笑顔の暮らしを取り戻すために、「シトラスリボンプロジェクト」の輪が愛媛県から広がっています。

シトラスリボンプロジェクトは愛媛県特産の柑橘にちなんでシトラスカラーのリボンや専用ロゴを身に着けたり、玄関や郵便受けに掲示し、

「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。

リボンや専用ロゴで表現する3つの輪は「地域」「家庭」「職場（もしくは学校）」です。

船橋市は皆さまが笑顔で暮らせるようシトラスリボンプロジェクトに取り組んでまいります。市民の皆さまにもご賛同いただき、おもしろい輪を広げ、心から暮らしやすい船橋市にしましょう。

船橋市新型コロナウイルス感染症対策保健所本部
TEL:047-409-1898 FAX: 047-409-2952

新型コロナウイルス感染症への対応については、ワクチン接種が全国規模で行われております。船橋市においても、高齢者から順次「接種券」を郵送して、最寄りの医療機関や集団接種会場で接種が受けられるよう体制を整えています。

世界的な脅威になっている新型コロナウイルス感染症によって、これまで当たり前前に思っていた普段の暮らしができなくなり、学校生活や仕事場での活動や会合、サークル活動に「新しい日常」が求められています。

や保健所を通じた入院調整、医療機関への入院・治療は、多くの医療関係者の皆さんの献身的な努力に支えられています。

しかし、その一方で、家の近所に感染者が出たからといって、その人との距離を置いたり、感染がきっかけで引越を余儀なくされたとのニュースも伝えられています。また、看護師などの医療従事者として病院で働いていることで、そのお子さんが保育園や幼稚園でいじめられたり、登園を拒否されるなど、感染者や医療従事者への心無い差別・偏見が問題になっています。

こうした差別・偏見をなくしようと、「シトラスリボンプロジェクト」が全国に広がっています。「シトラス」とは、みかんやグレープフルーツなどの柑橘類の総称で、さわやかなイメージが感じられます。

シトラスカラーといわれる黄色や黄緑色のリボン（写真参照）を身に着けたり、玄関や郵便受けに掲示したりすることで、私たちの暮らしを守り、支えてくれる医療従事者など多くの関連する方々への差別や偏見をなくし、「ただいま」「おかえり」といった、当たり前のことが言い合える社会を取り戻したいという

気持ちを表しています。

この活動は、みかんの産地・愛媛県の市民グループから始まりました。船橋市もこれに賛同しています（別掲のポスター参照）。リボンの作り方は、公民館で配布しているパンフレットや、スマートフォンでも紹介しています。

船橋市の取組みは今年1月のNHKニュースでも紹介されました。船橋市では、市内のすべての小中学生およそ5万人にリボンの材料を配り、家族で作ってもらい取り組みを進めています。法典東小、丸山小でも全児童にリボンが配布されたようです。

ニュースでは、家族でリボンを作る市内に住むご家族が取材を受けていました。6年生の児童はリボンを作りながら、差別や偏見について「差別って、コロナになった人とは遊びたくないということかな」と話し、そのお父さんは「誰がかかるかわからないから、せめて自分は、差別はしないよ」という気持ちで行動したいね」と答えていました。

プロジェクトを始めたグループのひとり、愛媛県にある松山大学法学部の甲斐朋香准教授は「目に見える共感の気持ちを『見える化するツール』が提供でき、運動が広がるのは嬉しいのですが、それだけ差別や偏見に心を痛める状況がまだあるということかも知れません。将来的にはリボンを付けなくてもよい、温かい社会になることを願っています」と話していました。

リボンで作られた3つの輪は「地域」「家庭」「職場（もしくは学校）」を表しています。丸山に住む皆さんにも賛同をいただき、おもしろい輪を広げて、心から暮らしやすい丸山にしましょう。

丸山町会のホームページを開設いたしました。

下記のURLにアクセスして下さい。
<https://www.maruyama-funabashi.jp>



丸山町会では、これからの情報発信、伝達手段として、ホームページを制作、アップしたところ。町会ホームページを活用し、町内の皆さまと双方のコミュニケーションを深めたいと考えております。左記の二次元コードからも入れますので、是非ご覧いただき、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

6月29日	6月20日	6月5日	6月3日	5月23日	5月15日	5月12日	5月11日	5月9日	班長届日	氏名
4	3	1	3	3	1	1	3	3	丁目	
三宅 俊康	高田 勝	渡部 重二	元木喜代寿	田中 キノ	倉持 逸く	渡辺 渡	植木 喬	田中 松子		

表心よりご冥福をお祈り申し上げます
(敬称略)

町会からのお知らせ

柳澤会長の挨拶にもありましたが、8月に予定されていた「夏まつり」と9月に予定されていた「敬老会」は、コロナ感染予防等の諸般の事情により、今年度も残念ながら中止いたします。

前号(総会資料号)の訂正

5月配布の「広報まるやま」の一部に誤りがありましたので訂正いたします。

7ページ令和3年度班長名簿2丁目13班

- 誤原 輝徳 ← 正原 俊郎
- 誤田代 悦郎 ← 正松川 ひとみ
- 誤小山内 幸雄 ← 正小林 輝夫

* コロナの早い収束！ みんなの願い *